

平成18年度施策評価の結果概要

	I 「学びあいあたたかさのある 福祉文化都市」をめざして			II 「ゆとりあるみどり豊かな環境 共生都市」をめざして			III 「躍動し魅力あふれる交流 拠点都市」をめざして			A計	B計	C計	合計
	A	B	C	A	B	C	A	B	C				
1次評価	11	37	0	7	26	0	5	35	2	23	98	2	123
2次評価	2	45	1	5	28	0	5	35	2	12	108	3	123
3次評価		7			5			5	1	0	17	1	18

* 3次評価(行政評価検討委員会による外部評価)については、ヒアリングを実施18施策についてのみ実施した。

◆H18年度施策評価 判定基準◆

	有効性(指標と連動)	効率性	市民満足度
評価の基準 着眼点 配点	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している
4	設定した指標に基づき、事業の優先順位付けや取捨選択を行った上で、より効果の高い事業を実施し、目標を上回る成果をあげている (達成率100%超)	①事業の投入コスト減少、事業の成果が向上 ②事業の投入コスト減少、事業の成果が同じ ③事業の投入コスト同じ、事業の成果が向上	平均値と比較して満足度が高く、重要度も高い 【現在の水準を維持する施策】
2	設定した指標に基づき、事業の優先順位付けや取捨選択を行い、より効果の高い事業実施を目指し、ほぼ目標どおりの成果をあげている (達成率80~100%)	①事業の投入コスト減少、事業の成果が減少 ②事業の投入コスト同じ、事業の成果が同じ ③事業の投入コスト増加、事業の成果が向上	①平均値と比較して満足度が低く、重要度が高い 【優先して改善を要する施策】 ②平均値と比較して満足度が高く、重要度が低い 【改善の必要性が低い施策】
1	設定した指標に基づき、事業の優先順位付けや取捨選択を行い、より効果の高い事業実施を目指しているが、目標どおりの成果が見込まれないもの (達成率80%未満)	①事業の投入コスト同じ、事業の成果が減少 ②事業の投入コスト増加、事業の成果が同じ ③事業の投入コスト増加、事業の成果が減少	平均値と比較して、満足度が低く、重要度も低い 【現状維持または、あり方について検討を要する施策】

◆配点と評価結果◆		
配点	評価	評価の考え方
12点から 10点	A	良好
9点から 5点	B	事務事業の見直しが必要
4点以下	C	事務事業を統合廃止の方向